

▲ 実在する園を見学報道等より

「お腹はすかないんだよくなあ」と。

・遺影の前で語りつ人々（職員より）
遺影の前でボロボロと泣き出す子、ひたひめもなめ涙が出るからですと…小さかった時の思い出が思い出されて、涙…だけ、また来ます。

すと。

・おじちゃんには大変お世話になりました。忘れたことはないです。

・気の強い娘2人を泣いてはなぐさめてくれたり、本当に大きくしてもらつた。月に1回ぐらいおじちゃんに献花させて下さる…いつももちつてきて園の中をぐるりと先生達とお話ししたりと…

・小学生の卒園児が帰りに立ち寄り、おじちゃんの遺影の前で手をあわせていく」と数人。

・泣いている子をあやし、あやし終わると事務所に。いつも園長先生がすわっている場所へ。「わがなんばんだよなあ」おじちゃんの方がココロの保育士だ!! 之心の中にある子どもの気持ちをキヤツチするのが早く、いつも感謝でした。「四分一さん なあ」と時々はぐぐぐぐぐぐぐぐもあつたでしょ。

Mはいつも朝になると花をつんでおじちゃんにあがるの!! いつも

ありがとうの気持ちでいるんだよと話しています。Mの心中では、おじちゃんが生きているんですねーと

・亡くなる前の数ヵ月前4月頃、コスモスを植えかえていたりしている時に、サツマイモの苗も植えたりおばちゃんとの時に何回も

「おじちゃんやめて下さるよ」「お医者さんへ早く」するし「大丈

夫、動いている方がいいんだ。腸がいいとして活発になつてなあで

・亡くなる一ヶ月前、朝出勤し事務所へ、「四分一さんなあ。水筒に水を入れて持つてくるけど、水一口入れただけでも、コロコロお腹になるんだよまつたくなあ。迷惑かけるなあ」と…何回も言つていて、そんなことないヨ!! お互い様、早く元気になるよつこ…といつも思つていました。もしや…??

・網戸が壊れればすぐなおして下さりたり、日曜大工はすべておじちゃん。本当に感謝です。あれもこれも嫌な顔一つせず頼めば次日には出来上がりたり、修理して下さりたり小羊にとって大切な人を亡くして残念なりません。

・個人的な、家庭のこと職場のことなどお話ししてくれましたね。

・でなあ…でなあ…でなあ…胸がつまる」ともありました。

・今現在は、玄関入ったといふにおじちゃんの遺影があり、いつも見守つていて下さるねど、職員の気持ち。子ども達、職員、保護者、夜の見まわりまでお願ひし、「帰ります」どんな時にも笑顔でむかえ「おつかれさん」とおられている様です。私達の心中にも生きていません。ありがと。

・おじちゃんと四分一先生の会話、おじちゃんの鳥取弁が私たちには理解されなくて、四分一先生とは通じ合っていたので、いつもいいなあ」と思つていました。

・おじちゃんが廊下を歩くスリップの音…今でも思い出します。

・おじちゃんが子どもを見る時のやさしさ。子どもが大好きでかわいくて仕方がない様子が伝わって来ました。